

つかさ会 会報

Vol. 15
2007. 7月発行
つかさ会事務局

つかさ会の皆様こんにちは。

さる6月10日には、日本糖尿病協会岐阜県支部総会が恵那市で開催されました。遠方でしたので参加者90人とやや少なかったのですが、総会・講演会ともに充実した内容でした。つかさ会会員も10名ほど参加いただきました。参考までですが、つかさ会会員数は現在370名ほど、岐阜県内にはつかさ会をはじめ36個の友の会で2000人の会員。日本全国では約1500個の友の会で10万人の会員です。大所帯ですが、糖尿病を通じていろいろな方が入会されております。月刊誌の「さかえ」も年々充実してきております。これからもこの輪が広がるといいですね。

さて今月の『さかえ』では、まずは“健康診断で分かること(P24)”難しい言葉のやさしい解説もあります。やはり定期的に通院されているかたや医療関係者のかたも健診を受けましょう。「私は毎月糖尿病で受診しているから健診はパス」ってかたもみえるようですが、是非受けて下さい。医師からも強くお勧めします。“読者のひろば(P62)”は毎号読みますね、“1型糖尿病と・・・(P59)”もいいですね。“デバイスを知る(P18)”に各種血糖測定器の写真が掲載されています。こんなにも種類があるんですよ、ビックリですね。“高齢者の・・・(P12)”は、読み飛ばして下さい。80歳をこえても若い方は若い！ 高齢者って意識はなくてもいいでしょう。ただし「認知症予防のためにも血糖コントロールを！」これは大切かもしれません。P52の「医師は学問をするばかりでなく、患者やその附添人、周囲の環境にも考慮をほらうことが大切」確かに…、私もまだまだ修行中です、いろいろな方から日々沢山のことを教えていただいております。これからも友の会の会員の皆様、宜しく願いいたします。ご意見なども事務局までお寄せ下さい。